

JR貨物賃金抑制の 説明経過について

- 3月11日～本社は事業計画を説明、1週間遅れた。平成25年度は厳しい運営と説明。外郭取締役や国から追及されている。
- 3月19日～田村社長は管理者へ数値を入れた資料で賃金抑制について説明、新採者にも同様の資料を郵送した。
- 3月11・21日～貨物労組が地方でオルグをしている。
- 4月2日～会社側へ追及、本社へ申し入れた。社内報「ぼるて」にこの内容を記載した。
- 4月16日～国労本部指示30号で指示・チラシ配布。
- 4月18日～貨物労は反対する意思統一をした。国労本部反対。
- 4月24日～国労本部は申し入れについて・団交を求めている。会社側は経協で説明。田村社長は、新年度は数値を入れた資料となった。幹部のみの説明なので謝罪はしない。手順については反省している。
- 4月25日～全貨協と国労本部と意思統一、指示30号・署名行動を進める。貨物労は反対を表明している。
- 5月～貨物労は国労批判をしている。デマ宣伝。そのことについて国労本部は適切な対応をする。貨物労から正式な抗議は無い。



5月9日、国労本部は経営協議会を開催し、貨物会社から「2012年度決算概況」について説明を受けました。

鉄道事業における営業収益は1312億円（前期比1・4%減）、営業損失は78億円（前期比6億円増）となった。

関連事業は、マンション分譲などの新規開発を積極的に展開する一方、契約期限を迎える大型賃貸物件の契約改正を行った。

この結果、関連事業における営



業利益は186億円（前期比6・4%減）、営業利益は116億円（前期比6・6%増）となった。

以上により、営業利益は1499億円（前期比2・0%減）、営業利益は37億円（前期比2・7%増）。

これに営業外損益を加味した経常利益では4億円（前期比2億円増）で、特別損益、法人税等を加減したトータルの当期純利益は減収・増益の4億円となった。

平成25年度は、安全の確立・安定輸送の確立を大前提に、輸送品質の向上を進め、安定して鉄道事業を運営していく。

一方、鉄道事業の収支が一段と厳しくなっている状況に鑑み、鉄道事業の早期黒字化に向け、競争力を高める経営改革に取り組み、

4億円の経常利益を計上



NO. 789
発行
13・6月15日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

2012年度決算概況説明 JR貨物 5月9日

説明対して 国労本部は

①23年度決算全体としては、減収・増益で営業利益37億円、経常利益4億5千万円で対前年+18・8%としているが、この間、世界経済の失速や自然災害などのリスクにあった中で、の経常黒字を会社はとてどのよう考えているのか。

②ダイヤ改正効果があるものの貨物会社の経営については、今後も引き続き厳しい環境が予想される中で、平成26年度の業績予想を営業利益68億円、経常利益34億円、当期純利益20億円と予想しているが、何を以て、この数値の予想を見込むのか明らかにすること。



③②の質問について、もう一度丁寧に説明を求めたい。

④営業利益を過去最低の水準と言われたが、営業費の中での人件費、物件費、減価償却費がある中で、この25年間で減ってきたのは、人件費だけではないのか。物件費では線路使用料等が増加し、修繕費が減っている状況で、結果として帳尻合わせではないのか。減価償却費は、今後の設備投資を考慮すれば、収益と見れば負担となる。



- ⑤流動資産の390億円は、無利子融資を含めた額であるのか。
- ⑥佐倉機関区跡地の汚染処理に9億円と言われたが、10年前の事柄でありすでに終わっているのではないのか。
- ⑦線路使用料の額について説明されたい。
- ⑧他のJRは連結決算を明らかにしているのに、貨物会社は、なぜ単体の決算だけしか提示しないのか。

2013年度国労東日本本部 定期大会代議員選挙

- 公示日
2013年 6月8日 (土)
- 投票日
2013年 6月19日 (水)
- 立候補締切日
2013年 6月12日 (水)
- 不在者投票日
2013年 6月16日 (日)
~6月18日 (火)

●第27回東日本本部定期大会は
8月9日(金)~10日(土)
秋田地方本部管内で開催しま
す。
詳細は別途連絡します。



会社側は

① 鉄道事業の収入については、△72億円から△78億円と6億円悪化していることが最大の問題である。震災復旧の動きも鈍く、また海外経済動向なども低迷し輸出も伸びなかったことなど、ゆゆしき問題と考えている。

② 26年度3月の業績予想の根拠としては、コンテナ収入の拡大やダイヤ改正効果、新荷主や臨時貨物や荷主の動きなど含めて増収と、社員数の減等を含め業績予想している。



③ 売り上げの確保については、説明通りであるが、経費については出向の拡大等、収入増と経費削減等で考えているが、引き続き事業計画の中で議論していきたい。

④ 国際会計基準があるが、現行としては、減価償却について、どうこの議論はされていない。物件費として、動力費、業務費が増加しているが修繕費は計画として減となっている。

⑤ 無利子融資は含まれず、これまでの長期債務は、30億円を10年かけて償却していく。

⑥ 過去から対策は施していたが、根本的な対策とはなっておらず、ここに来て、しっかりとした対策を行っていくことに9億円を当てた。

⑦ 線路使用料は第3セクターを含め216億円。第3セクターだけでは63億円であり、その内、調整金が57億円となっている。

⑧ 連結体制が組めていない。貨物会社単体の影響が大きい為であるが新しい会計システムが導入されれば連結を考えていきたい。



■ カードローン「マイプラン」

低利・安心・便利なカードローン。お取引内容に応じて金利が設定されます。

お使いみちは自由で、ご利用限度額(極度額)の範囲内で繰返しご利用いただける普通預金とセットになった定額返済方式のカードローン

銀行・ゆうちょ銀行・信金・信組・セブン銀行・イオン銀行・JA等のATMでのお引出し手数料を全額キャッシュバック

■ 商品概要

融資限度額	300万円(10万円刻み)
担保	不要
保証	保証機関の保証(保証料は融資金利に含まれます)
返済方法	毎月8日にご契約の普通預金口座よりマイプラン限度額に応じた返済額をご返済いただきます。 また、ボーナス返済は毎年1月、8月の各8日にご返済いただきます。
金利	お取引内容に応じて金利が設定されます。(変動金利)

ご注意

※審査結果により、ご希望に添えない場合もあります。
※詳しい商品内容は店頭にて説明書をご用意しております。